

第25回国労東日本本部拡大委員会開催!

第二回国労東日本本部拡大委員会が、二〇〇八年二月三日東京・交通ビル大会議室にて開催されました。春闘以降の国労東日本の運動の基本方針が本部より示され多くの代議員の活発な意見や職場実態が出されました。

♥ 福田弁護士挨拶

・(抜粋)

和解以降現場管理者が変わってきている。
新入社員に対する取り組みがこれからは大切だ。国労組合員を公平に取り扱う基盤づくりが必要だ。

採用差別問題については、四者四団体の総団結が図られ、十一月三十日には日比谷で大集會が開催され七三〇名の参加があった。

国労差別訴訟は、一月二三日全動労判決があり、公平な取り扱いをうけられなかったことにより継承会社への就職が果たされなかったことによる損害賠償が認められた。鉄建公団訴訟九・一五判決でも、組合差別の名簿記載が不法行為だとされた。組合組織も不利益な取り扱いを受けたと認

められ、感謝料の請求を認めた判決だ。

平和闘・勝利・連帯!

地方の声

貨物 貨物の状況は極めてひどい状況だ。ストライキで春闘を闘いたい。和解後の会社の対応には多少は変化が出てきている。これからは企業内に埋没しない闘争をしていく必要がある。



大船 JR不採用問題は早期に

解決しなければならぬ。政治闘争、裁判闘争、ILO、大衆闘争、自治体の意見書の採択などできる限りの闘いを強めていかなければならない。昨年の十一月三〇集會は神奈川からは一五〇名の参加があった。これからは非正規社員の正社員化が課題だ。

盛岡 JR不採用事件のこれ以上の解決の引き延ばしは許され

ない。早期解決のために我々も協力して闘う。貨物とJRとの格差が開いていることも問題だ。是正する闘いが必要だ。

水戸 国鉄闘争の早期解決を求めます。一・三〇集會は水戸からも地域共闘の仲間も含めて大勢が参加した。水戸では労働条件改善プロジェクトを起こして一人勤務者の休憩時間の確保やパートナー会社の労働条件の改善の闘いをしていく。

再雇用制度については十二名中九名が内定した。今後はエルダ―社員の組織化が課題だ。

東京 シニアの再雇用制度が始まるが、夜間一人勤務、長時間労働、精神的にも肉体的にも大変な仕事だ。労使の協定も無のまま仕事をさせられている。団交権も組合掲示板も無い状況だ。エルダーの雇用条件や委託駅の労働条件改善、正社員の雇用拡大と定年延長の闘いが必要だ。



2008年春闘 青婦家中央行動 整然と！(^ o ^)！

1100人参加の闘争民権闘争

二〇〇八年三月四日国労青年婦人家族中央総行動が開催されました。今年は闘争団とともに政府に対して解決の決断を迫る運動と春闘勝利に向けた闘いを一体のものとした取り組みがテーマでした。早朝八時三十分より東京地裁前でヒラマキ宣伝行動、その後十二時まで座り込み行動、午後からは大崎南部労政会館にて学習交流会を開催しました。

全体交流・青年部婦人部家族の代表により決意表明をし、恒例の団結ガンバローで閉会しました。

青年部

JRに入ったとたん夢がぶっ飛んでしまった。明るい会社になるようがんばりたい。

家族会

二二名が参加している。今日は分割民営時のことを思い出した。脱退用紙、人活のことなど。六年前大量脱退があり仲間が減ったががんばっている。

婦人部

闘う国労にいいことを誇りに思う。家族会の活動はすごい、国労ならではのと思う。そんな家族会と元気のいい青年部とともに組織拡大にがんばろう。

参加報告

二〇〇八年青婦家中央行動に参加してきました。三月とはいえまだまだ冷たく、東京地裁前での座り込みは辛かったです。国労の青年婦人家族の熱気に徐々に血が騒ぎ、私自身まだまだ頑張ると決意を新たにしました。また近畿青年部の若さとパワーそして団結力には驚き圧倒されました。これからの国労の旗を守っていく若い人たちに心から拍手を送りたいと思った。

N発報告



東日本アンケート調査より

東日本本部のアンケート調査結果を見ると副食・小遣い・耐久財・旅行などの節約が見られました。どうしても必要な主食はともかく副食を安いものにしようとか小遣いを減らしたり、楽しみの旅行などを我慢してしまっています。耐久財というのも切実で家の手入れや家具・電化製品を古くても使える間は・・・という生活がうかがえます。

筆者も夫が退職するときには、老後のことも考えながら家のリフォームもしなくては、と考えています。外装も必要だがもう少し・・・と先延ばしにしている実態があります。

やはり春闘に勝利し高額回答を引き出すしかありませんね。

婦人部アンケートも現在集約中ですよ！まだ出していない方は今からでもいいですから出してくださいね。お待ちしてイマース。